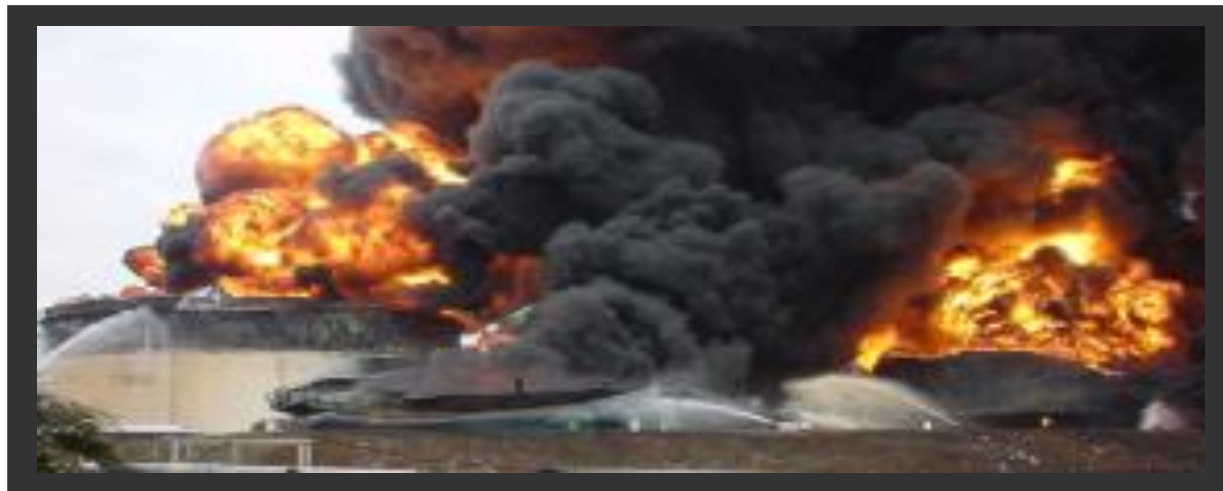


## オーバーフロー + 着火源 = タンクヤード火災

2004年9月



この写真は、引火性液体の入ったタンクがオーバーフローしたときに何が起こるかを示したものである!

## 何が起こったか

ある日の夕方遅く、引火性液体の入った大きな貯蔵タンクがオーバーフローを始めた。それは、警備員が強い臭気気付くまでわからなかった。彼は直ちにエリアの運転員に電話をして、その懸念を知らせた。それを聞いて二人の運転員が調査をしに、そのエリアにトラックでやってきた。数分の内に大きな音の爆発と火災が起こった。(彼らのトラックが初めの爆燃とそれに続く火災を引き起こした着火源だと考えられる。)タンクからタンクへと次から次に燃え移る火災を消火するのにプラントと市の消防団は1日半を要した。12人以上の従業員が入院し、施設にも大きな損害があった。

## それはどのように始った?

そのタンクは給油中だったが、運転員はレベル指示及び安全警報システムが故障していることを知らなかった。彼らはタンクに十分余裕があると思い込んでいたため、充てん操作をしっかりと監視していなかった。そして、彼らは警備員のいうことを本気にしていなかったか、警備員が新米だから強い臭気がしたと報告してきたと思ったか、即座には対応しなかった。ほとんどの重大事故がたどるのと同様に、多数の間違いが同時に発生した。

## あなたにできること

- ・引火性液体の移送には常に潜在的に大きな事故に繋がるリスクがある。移送を注意深く監視していれば、流出や漏えいはすばやく検知し対応することができる。
- ・引火性ガスの中に車で入らないこと。車は、高温のエンジンの集合管やマフラーなどが点火源となる。これらは、しばしば多くの引火性物質の自然着火温度よりかなり高くなる。もしガスがあなたの運転する車によって着火したら、あなたは前列の座席で、爆発の中心にいることを忘れないこと。
- ・異常な事態や臭気についての報告にはそれぞれ真剣に取り込み、すばやく、徹底して対応すること。註: **もし自分が運転している車のエンジンが勝手に回転を始めたら、それを止め、直ちに脱出すること。あなたは燃焼雰囲気既に入っているかもしれない。**

PSID のメンバーは無料検索で“Tank Fire”を見ること

**引火性物質が放出したときはいつも、火元があればすぐ火災になる!**